

絵画をカガクする 刈谷市美術館常設展

刈谷市美術館で、収蔵品を紹介する常設展「画の世界」が開かれて



さまざまな表現方法で描かれた絵画が並ぶ＝刈谷市美術館で

十二月九日午前十時、十一時、午後一時

している。
昨年二月に亡くなった絵本作家、井上洋介さんの原画も展示。愛知教育大幼児教育講座の樋口一成教授（造形）と長野県根羽村の森林組合が共同開発した木のおもちも紹介している。

いる。十二月十日まで。入場無料。
落下する二人の女性を中央に配し、不安な気持ちを想起させる石井茂雄さんの油彩画「戒厳状態」や、魚眼のような丸いキャンパスに、ゆがんだ街と水生生物を描いた桂川寛さんの油彩画「魚眼の風景」など、作家の個性が表れた絵画十二点が並ぶ。

からは岡崎女子短期大学の学生による絵本の読み聞かせのイベントがある。申し込み不要。
（土屋晴康）